

## クリスマスの思い出

子どもたちと共に豊かに過ごした昨年のクリスマス。  
ある日のアドベント礼拝で、こんな質問をしました。  
「クリスマスって何の日?」。すると、  
「イエスさまのお誕生日!」と元気な答え。さらに質問を重ね  
「みんな、友達の誕生日だったら、どんな挨拶をする?」  
「〇〇ちゃん、おめでとうって言う」。  
「そうだね。では、クリスマスにはなんて言う?  
『イエスさま、おめでとう』って言うかな?」  
「???」。ポカーンとする子どもたち。「言わない…」  
「そう、なんでだと思う?」  
そのヒントが聖書の中にあります。  
宿屋に泊まる場所のなかったヨセフとマリアは  
馬やロバをつないでおく小屋でイエスさまを生み  
飼い葉桶に寝かせました。貧しい、貧しい、誕生日。  
その知らせを世界で最初に聞いたのも  
当時社会で最も貧しく低くされた羊飼いたちでした。  
天使は彼らに言いました。

今日ダビデの町で、あなたがたのために  
救い主がお生まれになった。  
この方こそ、主メシアである。(ルカ2章11節)

イエスさまのお誕生は、あなたたちのため。  
だから、この日には「イエスさま、おめでとう」よりも  
もっとふさわしい言葉があります。それは、  
「イエスさま、ありがとう!」  
わたしたちのために、神様のもとから来てくれて、ありがとう!  
そんな感謝の気持ちを、心と体を思いっきりつかって  
ページェントとして神さまに捧げてくれた子どもたち。  
観ていた私たちの心も感謝に満ちあふれ、豊かになって  
新しい2020年を迎えることができました。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<お庭のチャペル 礼拝のご案内>

毎週日曜日午前10時30分 だいが教会  
子どもに向けたお話もあります。  
どうぞ家族で、また誘いあわせてお越しください。